



MDGs エム・ディー・ジーズを知っていますか？

ミレニアム開発目標 (Millennium Development Goals)

ミレニアム開発目標とは、「2015年までに世界の貧困を半減する」ことなどを旨とする、期限付きの8つの目標（ゴール）です。開発途上国の貧困問題の解決のために、国連や各国政府などの諸機関が共通の目標として掲げたものです。（MDGsの8つの各目標のロゴは、(特活)ほっとけない世界のまずしさが作成したものです）



貧困や飢餓をなくそう！  
極度の貧困と飢餓の撲滅



小学校に通えるようにしよう！  
普遍的初等教育の育成



性による差別をなくそう！  
ジェンダーの平等の推進と  
女性の地位向上



赤ちゃんを守ろう！  
乳幼児死亡率の削減



おかあさんを守ろう！  
妊産婦の健康と改善



病気を防ごう！  
HIV/エイズ、マラリア、  
その他の疫病の蔓延防止



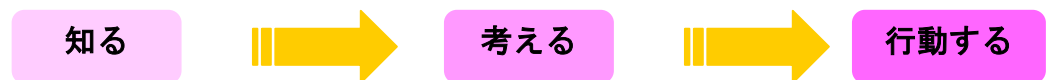
環境を良くしよう！  
環境の持続可能性の確保



世界のみならず  
開発のためのグローバル  
パートナーシップの推進

### 踏み出そう！国際協力へのステップ！～あなたにできること～

貧困、環境、教育、医療、子どもや女性、障害や福祉、開発途上国のこと。毎日の生活の中で気になったこと、それが何なのか自分に問いかけてみましょう。今まで気に掛けなかったことが、あなたの身近なところに繋がっているかもしれません。



世界が抱える問題を解決するために、そして、貧困に苦しむ人を生み出さない社会をつくるためには、私たち一人ひとりが関心を持ち、どんな小さなことでも行動してみる事が大切です。今日から私たち一人ひとりがメッセンジャーとなって、周りの身近な人たちに問題の深刻さを伝えたり、小さなことでも、できることから行動に移してみてください。

68億人の中の私たち一人ひとり。同じ地球に住む人たちに差しのべられた優しさが、いつかその人自身の未来や、地球の未来まで笑顔に変えていくことができれば、こんな素晴らしいことはないですね。これからあなたが起こす Action。その行動が積み重なれば、きっと世界を変えることができます。



世界では、3秒に1人子どもたちの命が失われている。戦争や貧困、環境破壊、疫病など、様々な問題が、幼い子どもたちの命を奪っています。

**飢餓** 何日も何日も物をたべず、気を失うような空腹感を、私たち日本人は感じたことがあるでしょうか。明日食べるものに何の心配もしたことがない私たちにとって、飢餓は遠くかけ離れたところで起きている問題に感じるかもしれません。日本の裏側で起きていること、一緒に考えてみませんか。

**1億4,800万人の子どもたちが栄養不良に陥っています。**

私たちが住んでいる地球には、人口が約68億人いると言われています。そのうち、**開発途上国に住んでいる子どもの数が19億人**。多くの子どもたちが開発途上国で生まれ、育っています。世界では**年間920万人**の子どもたちが**5歳の誕生日を迎えられずに命を落として**います。そのうち、死亡の原因として1/3以上は栄養不良が関連しています。飢え、またはそれに関連する要因で死亡している人々は毎年1300万人とも言われています。飢餓は体の免疫力を弱め、とりわけ、子どもは飢餓に陥ると病気とたたかう力が弱くなり、はしかや下痢といった一般的な病気で命を落としてしまうことがあります。子どもの飢餓は身体的・知的発達の遅れにつながり、さらにそ

|        |                 |
|--------|-----------------|
| 3.5秒に… | 1人              |
| 1分間に…  | 17人             |
| 1日に…   | 25,000人         |
| 1年に…   | 1,000 ~ 1,500万人 |

の子どもが住む国の経済に大きな損失をもたらします。飢餓が多く見られる地域は、特にアジア・太平洋地域（5億7800万人）、サハラ砂漠以南アフリカ（2億3900万人）で飢餓に苦しむ人のおよそ75%は、途上国の農村部に住む貧しい農民です。残りの25%は途上国の大都市周辺の貧しい地域に住む人々です。

### <飢餓の原因>

**自然災害** 地震や津波、洪水、干ばつなどの自然災害が起きると、農作物が被害を受け、人々は家や家財、仕事などの生活基盤を失います。近年、気候変動の影響あるいは、自然災害による被害は一層深刻化しています。

**紛争** 紛争が起きると、大勢の人が家や農地などを捨てて難民キャンプなどへ避難せざるを得なくなり、なかなか帰ることができません。地元に残ったとしても、危険で農作業もままならず、食糧の確保は困難を極めます。

**慢性的貧困** 貧しい農民は農業を行うための土地や水、種を確保する資金がないため自給自足できず、貧困や飢餓から抜け出せません。また子どもにも教育を受けさせられないため貧困が連鎖します。



© Dieter Telemans

\*\*紹介した写真について\*\*

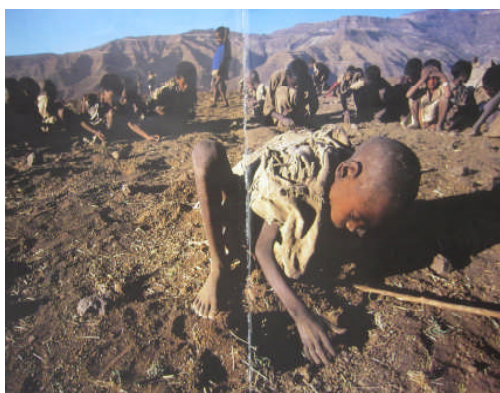


1983年 スーダン  
ハゲワシと少女  
ケヴィン・カーター Kevin Carter (1960-1994)

スーダンでは民族、宗教対立などの原因で内戦が長年にわたって続いていた。干ばつや伝染病がこれに追い打ちをかけ、1980年代から1990年代半ばにかけて100万人以上が死んだ。

この内戦でカメラマンが見たものは、多くの子どもたちが息を引き取り、

ボロボロの毛布にくるまれ墓場に運ばれる飢餓の悲惨な現実であった。子どもたちはただ泣き続け、次々に死んでいく地獄のような現実。そのような状況の中で撮影されたのが「ハゲタカと少女」だった。アヨド食糧センターに向かう途中で力尽き、うずくまった少女を大きなハゲワシが狙いその死を待っている様子であった。シャッターを切った彼はすぐそれを追い払ったといわれている。



1985年 エチオピア ラリビラ・キャンプ  
著：野町和嘉『飢えを喰らう』より

一日一回、家畜同然の食糧配給を受けるために、3000人もの人々が村を捨てて、夜間に零度近くまで冷え込む標高2700メートルの荒地に野宿している。子どもを背負い、涙しながら土を掘っている母親がいた。

「配給を受け、少し元気になりました。しかし元気になってしまったので、もう配給の切符をもらえなくなりました。代わりに毛布を2枚もらいましたが、食料を得るために売りました。」配給を受けられない

人々は野草の茎や根を掘って食べることで、かろうじて命を永らえている。時には石ころを拾って口に入れる。ろくな寝具や食糧も与えられない中、一夜明けていくごとに死者が増えていく。



1984年 エチオピア ハルブ・キャンプ  
著：野町和嘉『飢えを喰らう』より

キャンプの中庭に一人放置された子ども。親はずでに死んでしまったのだろうか。この子は首をうなだれ、肺炎を患っており、力なく呼吸するたびに息がヒューヒュー鳴っていた。難民キャンプの小屋の中では配給のビスケットとミルクを待つ人々が所狭しと横たわっている。わずかな配給でやせ細った体力はどこまで回復するのだろうか。背後では女性の泣き声が聞こえる。振り返ると、たった今死んだばかりの子どもと、衰弱しきったもう一人をひざに抱えた母親が泣きじゃくっていた。この日の滞在で幼い子どもの臨終に何回立ち会っただろうか。中庭の少女はその日、そこから全く動くことなく、単に呼吸をする物としてそこにいただけであった。

<ハンガーマップとは>



世界の飢餓状況を、栄養不足人口の割合により国ごとに段階で色分けして表現したものです。

飢餓人口の割合が最も高い赤色に分類された国では、全人口の35パーセント以上もの人々が栄養不足の状態に陥っています。

『ワールドハンガーマップ』

資料：WFP 国連世界食料計画より

みなさんは知っていますか。日本の廃棄食料は年間約2000万トンになります。途上国の人、5000万人分の1年分の食糧になります。栄養不足で亡くなる子どもが年間約920万人。日本の廃棄食料1割でこの子どもたちの命が救えます。つまり日本に住む私たちは飢えに苦しむ子どもたちの食糧を捨てているのと同じなのです。私たちが日ごろから心掛けなくてはいけないことがあると思いませんか。

<世界の問題と子どもたち>

|           |   |
|-----------|---|
| 水、衛生      | 世界では毎日4000人の子どもたちが、安全でない水や不衛生な環境によって引き起こされる病気や下痢などで命を落としています。農村地域やスラム街の貧しい人達が特に影響を受け、病原菌や寄生虫に汚染された不衛生な水は様々な病気を引き起こします。            |
| 教育        | 世界にはおよそ7500万人の学校に通うことができない子どもたちがいます。そのほぼ半数はサハラ以南アフリカにすむ子どもたちです。世界の成人の6人に1人は文字の読み書きができません。その3分の2は女性です。                             |
| HIV/エイズ   | 200万人の子供達がエイズと共に生きています。治療を受けられる子どもは10人に1人。エイズが原因で片親、または両親を亡くした子どもたちは1500万人にのぼり、その8割はアフリカの子どもたちです。                                 |
| 人身売買・性的搾取 | 8歳未満の少女1億5000万人と7300万の少年が性的関係の強要やその他性的搾取の犠牲になっています。そのうち、特にアジアが頻発している地域の一つです。非合法的ルートで売買されているので実態は見えにくく、このような統計は氷山の一角にすぎないと言われています。 |
| 紛争        | 過去10年で200万人の子どもたちが直接的な犠牲になり、30万人にのぼる子どもが兵士として紛争にかりだされ、10歳にも満たない子どもが強制的に拉致され銃を持たされています。貧困や虐待から逃れるために武装する若者も多いと言われています。             |

